

神奈川県では、韓国ではできている「生ごみの分別」が、日本ではできていないがために、肥料としてリサイクルすることができず、また一般ごみが燃えにくくなり、複数の処理施設にて、重油を加えて燃やしており、推進員の皆さまからの協力を得て、種々の実態を調査し、「生ごみの分別が生活習慣に溶け込むような形の提言」をまとめたいと考えています。

#### <主な実態調査項目>

1. もよりのごみ処理施設を訪問をして、一般ごみを燃やす時に、重油を使っているかどうかと、重油の量（一日何リットルか）、重油の添加の仕方や、いつ頃から重油を使い始めたかを調査する。
2. 韓国の生ごみの分別方法に関し、どのようなものか、課題は何か、いつ頃から始めたかを調査する。（もし、韓国旅行に行く人がいたら、どんなところに生ごみ処理機が設置されているか、国民からの不満の声の有無等や日本で生ごみの分別ができていないことに対して、韓国民はどう思っているかを調査する。）
3. 日本にて、なぜ生ごみの分別ができていなかったのか、その理由を調査する。また、日本国内でも生ごみの分別ができていない地域の有無を調査し、もし存在していれば、その状況を調査する。
4. 農地や家庭菜園等をお持ちの方は、そこに埋めるようなことで、生ごみを出さない工夫をされているが、そのプロセスにおける課題を調査する。また、埋めるべきところを持たない家庭で、生ごみを出さない工夫をされている人（家庭）がいたら、聞き取り調査をする。
5. 生ごみを分解性のある袋に入れ、海に投棄し、魚のえさとする手段があるが、その課題は何かを調査する。
6. 生ごみの集配の仕方を調査研究し、アイデアを出す。
7. 集配した生ごみの処理方法について調査研究をし、アイデアを出す。

#### <実態調査の進め方>

1. ノルマを課すことなく、やりたいと思うとき、またやれるときにやれる内容や範囲。レベルで実施し、興味がない、時間がない等の理由、あるいは特に理由なしで、全く何もしなくてもよい。
2. 裏付のない情報でも構わない、「〇〇しているらしい」等の文体でもOK、又ほかの人がすでに調査報告書をあげていても、後出しの追加で、しかもその情報量が前例より少なくても構わない。（量→質への転換）
3. 調査報告書に関して、画像を1枚貼れるスペースと最大1000文字が可能なスペースを神奈川県のホームページ上に設置するので、そこに実名で記入をし、他の推進員や事務局の人が閲覧できるようにする。
4. 処理施設への聞き取り調査等では、1：1で事実のみをメモするよりも、2～3名で行き、談話室等でお茶を飲みながら、苦労話（仕事の充実度）なども共有する方がベター（また各種議論をするなら5～10名程度がよい。）
5. 投稿で他の人の意見を中傷したり、内容に問題がある場合は、事務局より修正を求める場合があります。

### <定期全体打ち合わせについて>

1. 9月、11月、1月、3月（提言まとめ）の4回実施します、（基本的に自由参加、追加やキャンセルも気軽に。）
2. 初回は事務局（チーフ）より本調査研究&提言活動の概要を説明し、質疑応答を行います。
3. 2回目以降は、事務局が選定した投稿（3～10件）を発表形式にし、発表していただきます。（時間任意）
4. 参加者全員の簡単な自己紹介（居住区、名前、調査をしたい番号）を行います。
5. 会議終了後、自由参加の打ち上げを行います。参加費500円（ビール又はソフトドリンク）1時間程度

### <2. 3 補足>

従来ですと、結果重視で、報告や発表の体裁を整えることを重視しており、肝心の重要なことがうすれてしまうことが多々ありましたが、例えば言いたいことが30秒で終わるならそれでもよく、またこの機会にいろいろと言いたいことがあれば、ボリュームをUPをしてもよいとします。また、起承転結の手法や結論の部分をあえて作る必要もありません。どうしたら、みんなが本プロセスを楽しめるかをよくご考慮され、また一切の心理的・物理的・経済的な負担を感じることがないように、楽しい活動にすることをお願い致します。

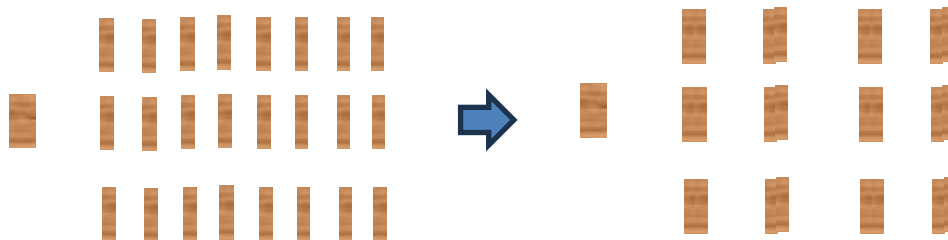
ひとつ一つは、ごく些細な情報でも、またいくつかは間違っただ情報が含まれていても、最終的に全体としてよい方向のご提言ができればよいと考えています。

本提言をもとに、世界中の各自治体様が、独自の修正を加えて、早期に運用されることを切に願っております。本提言レポートは、黒岩知事の承認後、神奈川県ホームページで開示し、内閣府や国連にも提出する予定です。

### <4. 5. の補足>

推進員の全員が人との交流を望んでいるわけではないので、打ち上げに参加し、交流を望んでいる人が、事務局の用意した名札に書き込み・身に着け、順に登壇し、簡単な自己紹介を行うようにしたいと考えています。（事務局の全員も名札をつけ、自己紹介を行う。）

打ち上げの参加者全員で、会場のレイアウト変更を行い、終了後にはレイアウトを元に戻します。



### <打ち上げ時のレイアウト変更例>

奇数列の机の椅子を一旦どけて、奇数列机と偶数列机とを合わせて、机の大きさを二倍にして、周りに椅子を置き、広いスペースで交流できるようにする。（居住区ごとに集まり、事務局員がビールを注ぎまわる感じがよい。）